

めます。

③ 森林の総合的利用の推進

安蔵森林公園、とっとり出合いの森、鳥取自然休養林（旧城山国有林）、三滝林間施設など、森林と親しむ空間の活用を努めるとともに、森林のもつ公益的機能に対する市民の理解を深め、市民グループや地域・学校活動などにより森林を守り育てる「市民参加の森づくり」を推進します。

④ 林業生産基盤の整備

間伐などの森林施業を効率的に推進するため、林道、作業道の計画的な整備促進に努めます。

活気あふれる

水産業の振興を

① 担い手の育成

漁業関係団体と協調して、漁船リース事業、青年就業者の技術習得に対するマンツーマン指導などに支援を行い、漁業後継者および新規就業者の確保を図ります。

② 販売・流通体制等の整備

漁業協同組合の販売体制を強化して、流通ネットワークの整備と、衛生的で安全・安心な水産物の提供に努めるとともに、水産物の地産地消を推進します。

③ 都市と漁村との交流促進

海をテーマとしたイベントの開催に取り組み、体験漁業や体験乗船など都市との交流を進め、漁業への理解と水産物の消費拡大に努めます。

④ 水産資源の増殖・保全

沿岸漁業・内水面漁業の資源確保のため、養殖や放流など、つくり育てる漁業を推進するとともに、湖山池のクリーンアップ事業などに取り組み、漁場環境の保全



後継者不足が大きな課題

木材・しいたけ生産

土居 衛さん / どいまもる
高路・82歳

生産者の声

45年間、林業に携わっています。主に、スギ、ヒノキの植林から下刈りや枝打ちなどの育成・管理をしています。木材の生産は信用が第一なので、山は手入れが欠かせません。枝打ちをすれば日が当たり木が元気になり、間伐をすれば他の木の発育を助けることができます。山は僕にとって永遠の恋人。木と会話をしながら作業をしています。ボランティアで県内の荒れている山の手入れもしていますが、最近、手入れ不足で放置されたままになっている山が多くなっているのが気になります。また、後継者が少なくなっているのがとても心配される所。これは日本全体の大きな課題だと思います。

に努めます。また、県と連携して増殖場の整備を進め、鳥取ブランド松葉がにの資源確保に努めます。

⑤ 漁業経営の近代化

漁業経営の近代化を図るため、漁業団体などによる経営指導に努めるとともに、漁業制度融資の充実と活用促進に努めます。

⑥ 水産業生産基盤の整備



育てて獲る漁業の確立を 刺し網漁 植嶋 浩一さん /うえじまこういち

気高町酒津・41歳

高校を卒業して2年間、会社員をした後、漁師になりました。子どものころから海が好きで、漁師である父の背中を見て育ち、自分も海で仕事をして生活の糧にしたいというのが夢でした。以前の漁業は、網を張って魚を待っていましたが、現在は、魚群探知機などの機器が発達し、魚を探して獲りに行っています。また、船のエンジンも大きくなって、境沖から岩美沖を一晩で往復することもできるようになり、操業範囲が広くなりました。今後は、獲る漁業から放流などを行い育てる漁業を確立し、収入を安定させる漁業をめざしていきます。また、子どもが3人いますが、1人でも漁師になってくれたらなと思います。

防波堤や防砂堤などの漁港施設の整備、魚礁の設置による水産資源の増大、藻場の増殖による海産資源の増大を図ります。

これらの取り組みを、生産者や生産団体と連携して進めることにより、農山漁村地域の振興に努めます。

問い合わせ先

- 市役所第2庁舎農業振興課 (0857) 2013232
- 市役所第2庁舎農村整備課 (0857) 2013244
- 市役所第2庁舎林務水産課 (0857) 2013235